『除月曜』 第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認新聞第684号

磐　城　日　日

昭和28年（1953年）12月4日（土曜日）　第996号

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚過51
電話代表387番
編輯兼發行人 長瀬壽一

記者
見習記者
業務社員〃　若干名

年令不問
學歷御送附
面会日通知

磐城日日新聞社人事課

縣議補選四候補が亂戰

石城戰野

知事戰野に河戸候補が慧星的に登場話題を巻き起したあと、縣議補選界にも木田氏脫黨問題などが惹起して選擧戰線に慌しい風波が見られるとき、左右統一候補が遂に決裂して兩派單獨立候補という顛末となり茲に石城縣議補選は木山、鈴木、本間、高萩の四候補が乱立、一つの椅子を巡つて爭奪激戰に突入するが、この左右單獨出馬の今次急変事情は当初統一候補が予想されていただけに、乱立に乘じて更らに今一名の立候補者があるのではないかと見られる空氣を釀成しつつある

統一調整遂に決裂

左派本間、右派高萩で出馬

革新陣營から統一候補を擁立して實質的に議席を確實に戰い取らうという左右社黨の最後的協議会は、三日平市勞働會館に於て左右兩派首腦部が会談の結果、右派高萩氏の供託並に立候補届等の一方的不信行爲が左派の逆鱗に觸れ、當日会談当初〃革新陣の勝利の爲に〃と高萩候補一本に妥協すべく讓歩の空氣にあつた左社首腦も遂に右社陣營の誠意認め難しとして調整は決裂、右派協議の續行最早無意義なりとの發言に会議は分裂となつて終了した

本間氏起つ

よつて左派では本間政男氏を單獨候補として推薦するの止むなき狀勢となり統一戰線の破壞を敢えてした右派にも敢然挑戰の腹を決めて本間氏は左派獨自のイデオロギー戰で大衆層に呼びかけることゝなつた

工業調査の説明會

郡下の工業調査員の工業調査説明會は縣統計課椿主事を講師に三日午前九時から小名浜町公民館ホールで開かれた

統一候補への歩みと失敗までの経過

決裂原因を斯く見る

解説 今次縣議補選における左右統一戰線の結成が何故成らなかつたか？以下との問題について磐日編集メモをめくつてみよう

△十一月二十一日 平五者會談 平共斗、常炭連、左、右縣連等革新陣營首腦部ら今次縣議補選に「統一候補を出す」の議決まり人選は左、右社黨に一任となる

そこで先づ各派の單獨選考始り

△廿六日右派執行委員会開く 右派誰を出すか結論未だ出ず

△廿七日左派本間政男氏全員一致推薦決定

△廿七日右派代表大内近雄、左派代表会田亮第一次調整會談は以下の實狀に鑑み、十二月二日に決定期日を決める

△十二月二日

左派会田、菅波、菅原、右派大内、大原、菊地等を首腦代表として午後三時第二次調整会談始まる

右派高萩邦男、左派本間政男、兩派各々推薦決定者を提出人選檢討中に右派高萩候補すでに供託金を積めりとの情報あり故に左派直ちに統一候補の目下調整段階にあるとき斯かる行爲は一方的だと不信行爲を詰問せるに右派曰く

「左樣なことは一向に存ぜぬ」と言い、若し事實とした ら供託金を撤回一時白紙に戻すと協約違反を認め九時三十分ごろ散会

△三日第三次会談

右派前日の約束を反古にして供託金の解決をせぬのみか、高萩候補午前九時立候届提出の情報入る

左派これより先三日会談に臨む折 革新陣營の議席獲得の大義のため統一候補に高萩氏合流に讓歩の意圖を漏らす

然るに会談中の右派の態度と刻々に判明して来る同日の客觀的事實は、右派の人間的道義の上に更らに誠意が認められない代表に信を措くべきか、勞組に信を置くべきか、最早その統制力と誠意を疑う以外道義的人間のやつていることゝ思えないという意味の荒い言葉すら扉の外に聞とえ始め遂に左派は当初の好意的良心を提供する相手でない、と決意したもののゝ如く、右派会談續行の無意義なることを發言したため

冒頭記事の如く統一戰線結成遂に成らず、調整は分裂の形で終末となつたと見るのが最も公平な觀測で、日時等に一分や三十秒位の違いがあつても許して貰いたく結論として

統一を失敗に導いた最大のものが右派の獨善と背信に基ずく行爲に基因していると見られよう

小名浜視察團相次ぐ

合併一号町で

町村合併は町村合併促進法の施行により各地に急速にその機運を盛り上げているが同法第一號として登場した小名浜町は各地からの視察團で賑わつているが三日は安達郡本宮町、仁井田村、耶麻郡豊川村などの町村理事者町村議会議員など三十六氏が小名浜町役場を訪れ小泉企畫課長などの説明で合併狀況を聽取、鹿島方部、港灣など町勢を觀察して夫々歸郷した

天氣豫報 5

（本日）北西の風時々やゝ強よく晴れ一時曇り、山沿いは時雨れる事もある

魚菜市況 4

（小名浜中央青果市場）
卵一〇、八〜一二、五へら菜一〇〜二〇丸大根一六〜二八里いも六〇〜八〇ねぎ五〇〜一二〇さつま凶〇〜五五牛蒡一三〇〜一六六馬鈴薯五〇〜七一大根二〇〜二五白菜三〇〜三五人じん二〇〜六〇切いも一三〇〜一四〇ほうれん草一〇〇

演劇とは何か

縣演劇コンクールをかえりみて思う ④

小名浜演劇研究会
ひいらぎ・のぶお

藝術的な演劇、つまり如何にして作者の藝術感動を強・感受せしめるか、その手法として種々のシステムがあり、イズムがある

故に究極の目的は藝術的感動を强よく觀客に與え同時に舞台人自らもそれを感得するにあるからして 特定のシステム、特定のイズムでなければ藝術的な演劇ではないと云う理論は理論ではないと思うのである

勿論その手法としてリアリズム、演出システムがより正確であると云うことを否定するものではない

しかしながらリアリズムを主張し、それ一点張りで舞台上に本ものの酒を呑み本ものの菓子を喰うことがリアリズムであるとするならばこれは論外である、極論すればその種のリアリズムは舞台上には有り得ない不可能事である、何故ならば戯曲それ自体が想像の空間的なものであるからである

山川氏の審査講評、審査結果から判断するに「演劇とは現實の生活を舞台の上に再現することである」の一言につきるが如く感ぜられる

觀客は自分達の生活を見るのであれば理解は易くまた感動も生々しいであろう

舞台人も演技という問題なしに持役を理解し体得することが出來るかも知れない、しかし果してそれのみで演劇と言い得るであろうか

そこに存在するものはストリーのみであつて人間の藝術的感動などは全然感じ得ない、勿論夢もなければ理想もない、これが演劇だとすれば演劇の價値、必然性などは豪も認め得ないではないか、裏長屋の夫婦ケンカの方がよつぽど演劇的でさえあると思う

また山川氏は創作劇の必要性を説かれ、それを禮讃したがそのことについては何らの異論を持つものではない

しかし創作劇の必要性の爲に既成作家の戯曲價値をなきものと斷ずる事には納得する事が出来ない

若し既成作者の作品が自立演劇、職場演劇にとつて價値なきものとするならば一体これらの戯曲の價値は何處に存在するのか

職業劇団にのみ、戯曲としての價値が存在し、他は文藝作品としての價値より無いと云うのであろうか

戯曲が舞台の上には價値なくして、文藝作品、戯曲のジャンルに形態を借りた讀む小説であるとするならばそれは戯曲作者の藝術性を冒どくするものではなかろうか

祝發刊滿三周年記念協贊

石城地方事務所
所長 若月可直
次長 芳賀三男
總務課長 有賀篤

石城地方町村会
会長 高木武一郎
副会長 水野政次郎
同 沼田一男
事務局長 橋本勳

石城郡町村議会議長会
会長 鷺文治
副会長 菅本三義
同 坂本太平治

平市役所
市長 諸橋久太郎
助役 伊藤秀吉
收入役 根本益利

平市議会
議長 金子政通
副議長 大嶺庫

實を結ぶ生活改善の旗標

殺到する公民館擧式

既に今月六組が申込む

婚禮合理化へ通計廿組

小名浜町公民館の公民館結婚式は昨年十一月齋田壽男氏の第一同挙式以来好評に利用者も追々その數を増し、既に滿一年で十四組の新婚者を送り出したが十二月に入つて利用者の數がグンと増し既に申込みを行つているものは六組もあり、申込順もあつて黄道吉日をはずされてはと明春の擧式を申込まれるなど盛況を極めていつそ結婚式場の看板を下げようかと出雲の神そこのけの嬉しい悲鳴をあげている

この公民館結婚式は同館厚生部長松田美技氏らが中心となり生活改善合理化の第一歩は人生再出発である結婚式の簡素化にあると研究提唱し、神前結婚、御座敷結婚、披露宴など所用の器具などを準備して、簡素でしかも結婚の意義を一層尊嚴ならしめる結婚式と廣く町民に呼びかけて來たものであるが、豪華な料理と酒を披露宴の見榮と考えていた弊習は一年を見ずして次第に影をひそめて生活の合理化にこの公民館結婚式は大きな意義をおさめてこの十二月一カ月に六組の申込みはそれを立派に裏書きするものと識者を喜ばせている

同館主事吉田幸氏談　公民館結婚式は發足来一年ですがこの好評を數多くの利用者を得たことは松田さんら厚生部の方々、婦人会の方々の時代に眼覺めた熱心な運動の賜もので近い將来に結婚衣裳なども備えて誰でも簡單に利用出来るよう研究したいと思います、そして小名浜町の結婚式全部がこの公民館で行われるようにしたいと思つております

年末年始へ客取戰

植田の業者明粧に大童

年の瀬も間近に控えている今日この頃、植田町の割烹、料理、飲食店などでは忘年会、クリスマスの用意に大童となつて来たため、各店ではその受入れ準備にやつきとなつて店の改築、部屋の設備と裝飾に力を入れて、来るべく客のサービスに万全を盡すして各店競走の歳末客呼せ景氣を見せている　一方植田町澁川に在る割烹旅館「澁川」では湯本町鈴木建設KK（社長沂藤一利氏）の技術的建築で郡下には一寸珍らしい仲々のモダン建築で工事を進めており近く落成、クリスマス、忘年会には是非どうぞと店員一同張切つている　また植田町より延長四〇〇米の鮫川橋を渡つた錦町大倉にある東洋一の遊園地鮫川ボート場（経営者正木門七氏）では從來のダンスホールの一部を改修しん喫茶、新天地一鮫川食堂」と銘打つて十二月一日盛大に開店祝を行つた

この新天地鮫川食堂は吳羽化成の新工場建設に伴い今後大いに發展を約束される錦町に近く將に新天地的な氣分が滿喫されることだろう

胃グスリなら
佐藤のホミカロート
長生堂薬局
小名浜中島　電三七〇

駅前廣場が完成

植田町玄關面目一新

植田町多年の懸案であつた駅前廣場擴張問題も渡邊町長、北郷、中根覺德議員等關係有志の熱ある交渉が實を結んで駅前土地所有者米山商店主等の協力もあつて、見事に解決、郡南の中心都市植田町には相應しい駅前廣場として発展を約束されて来たが植田駅前の整備にはこれではまづいと永山商店では東京、仙台、郡山など代表的な驛前の施設などを見聞、參考資料として　當植田駅前の擴張に伴いその整備の設計を研究していたが、去る十月その構想がなつて同町植田建築工務所の手で賣店、公衆電話室、サービス室などの工事に着手していたが、この程見事に上棟の運びとなり近日中（本月中旬）に落成することになつた

永山氏談　駅前の擴張問題は多年の植田町懸案であつただけに相当の難關があつたが町当局の意を考慮して協力することにした、今後の發展を期しても駅前の整備は先づ必要と考え、各地の産業都市を一巡して植田駅前の整備の粋として工事を進めたこの建設の竣工と共に植田町發展に大いに寄與したい

命尊とし

常磐勞が經營者に要望

保安施設の强化願上候

常磐地區炭山の相次ぐ落盤事故發生に監督官廳では原因の現地調査に東奔西走、一方常磐炭礦勞組でもこれに併行して檢討中であつたが、本月初めから二十日まで実施されることになつた災害防止期間に当り　勞務者としては完全就勞によつて能率を擧げると同時に經營者に對しても災害防止方途を確立するよう次の如き要望事項を提出することとなつた

▼專任保安係の職責を强化せよ

▼組合の常任保安係員を適時巡視させ不備の点を管理者に傳えるから即時對策を講じること

▼經營者側が是に即應せず改善の誠意なしと認めた場合就業就勞を拒否することを認めねばならぬ

▼施設その他危險性の判定については勞使相互の現場調査を行い得るも原則として現場勞務者の報告に對しては經營者は即時對策に動かねばならぬ、この義務を怠つた時は勞務者が職場から離れても感謝こそすれ文句を言うべき何等の言葉も認めない

▽經營者の利潤を追う心より人命の尊嚴性を先に認識するため例えば「今日のモラル丸」など朝晝晩湯又は水で呑むことを申入れる

▽特に口に苦きときにはオブラートを用いても差支えない、但し勞組印御用商登録なき製品はつとめて避けること

"走る圖書館も"

施設充実へ署名運動

縣圖書館協会では巡回圖書館（自動車文庫）の設置、縣立圖書館分館の充実などを縣議會、縣教育委員会に陳情するため全縣下の各公共圖書館を通じて署名運動を展開している

戰後文化教育、社会教育の重要性から圖書館の設立、利用は急に増大して来たが、予算面の財政的貧弱性から地方公共圖書館は申し譯程度でなおざりにされており、本縣もその例に洩れず縣立圖書館は福島に、分館は郡山、平、若松、白河、中村、田島の各市町に設置されているが圖書館法による圖書館には程遠く、倒底圖書館としての利用にはたえぬため、これを充実して圖書館法による圖書館とすると、また地方文化の昂揚のために自動車文庫の必要性は殊に本縣のように山間僻村の多い縣には痛感されるのでこれが購入設備を陳情するものである

因みに千葉縣には三十數台の自動車文庫があり、北海道、秋田、青森などにも既に設備され走る圖書館として非常な成績を擧げている

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電二〇四

植田遺族会總会

植田町遺族会の總会は四日午後一時より植田小學校裁縫室に会員約一五〇余名が參集して開かれた

美顔とパーマは
本田美容室
小名浜町

常磐名産　みりん干

福島縣下辯論大會　②

日本の再建に役立つものは

平工高　坂本光庸

或町角の廣場で無心に遊びたわむれている子供達を眺めては、ほほえみながら一心にガラスの破片を拾い集めているみすぼらしい一人の老人がいました。これを見て不思議に思つた巡査が老人に問うた處、彼はほほえみを浮べて　廣場の方を指して答えました。「あの子供達をみなさい、彼等は靴をはいていないではありませんか」この事実に直面してこのまずしい一老人のささやかな善行がこの巡査に無言の敬意をあらわしたばかりでなく人々に強い感銘を與えているということであります。皆さんこの一老人こそかの有名なスイスの世界に誇る大教育者ペスタロッチその人であつたのです、この一老人の善行人を愛するという精神が即ちスイス人全体の精神に大きな影響を與えているのであります。そしてスイス國民が共にこの精神を實踐に供した結果当時のフランス革命の大混乱から忽ち脱出して、現代の平和な國スイスとして、世界の人々のせんぼうの的になつている永世局外中立國を打ち建てることが出来たのではないでしょうか、斯く思うとき私は人間を愛するという事が如何に尊いものであり、又それをなす一個人々のささやかな行爲が如何に偉大な結果をもたらすかわからないという事を知るのであります現在多くの人達はモラルのたい廢を嘆き、荒廢した國土に嘆息をもらしています。しかし眞剣にこの問題にとり組んでいる者が果して何人いるでしょうか。「私がやらなくても誰かがやるだろう。僕一人位やらなくてもいいだろう」と。この私一人位僕一人位がという事をよく耳にするのが現社會の實相ではないでしょうか。私は只一人の人間にすぎない、私一人に何が出來ようかという事で良いでしょうか。人道主義の世界的文豪といわれるロシヤのトルストイは申しました「唯他人に力を与えただけではなく愛するものの爲肉体を犧牲にする、これより外に愛の解決はない。斯樣に愛にのみ私達は幸福を見出すのである」と。肉体を犧牲に迄して愛する同胞、愛する祖國の爲の幸福をはかる　これこそ現在の混乱した我國の世相を打開する唯一の道ではないでしょうか「愛は死よりも強し」正しい愛によつてのみ人生はじゆん化され平和が維持され文化は進歩することを信じて努力しよう。

然るときは日本にもやがて輝かしい曙が訪れる筈です。私達はまず隣人愛から発し、それが日本民族愛となり、世界人類愛にまで發展せしめるよう努力しよう。「道義日本の確立の爲温い人間愛を」との言葉を自主獨立日本再出發のスローガンとして、吾等青年學徒が若き情熱を結集して努力するとき始めて日本の再建は出来ると確信するものであります　（完）

全女性集合
2日ヨリ5日マデ
甘い夜霧に包まれた夢見る樣な陶醉を總の謎とも知らざりし
ああ愚かなり我が心
スーザン・ヘイワード　ダナ・アンドルース
同時上映　戰國無頼　東寶大作
同時上映
小名浜　キンヒ館　電六〇

昭和29年度
模様入　年賀狀　用紙入荷
御報次第見本携行御伺いいたします
小名浜町　長瀬印刷所　電話219—387

經費をかけずに良い品安く
寒さの御用意
冬服地ネルカセン純毛特價
夜具地と裏地フトンの手入
カネボウ毛糸　2000円
松月足袋別珍特製160円
豆別珍55円大人100円
純毛コットン1500円より
セータカーデガントツクリ
裏毛メリヤスはオリエント
学生服セーラ服學帽カバン
化粧品柳屋メヌマ　ジユジユ・ウテナ　80円
今評判の『ちどり綿』
極上一貫匁千七百五十円
白一級品　千三百円
赤一級品　千円
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電二九七
チケット歓迎